

6. 原材料使用額等

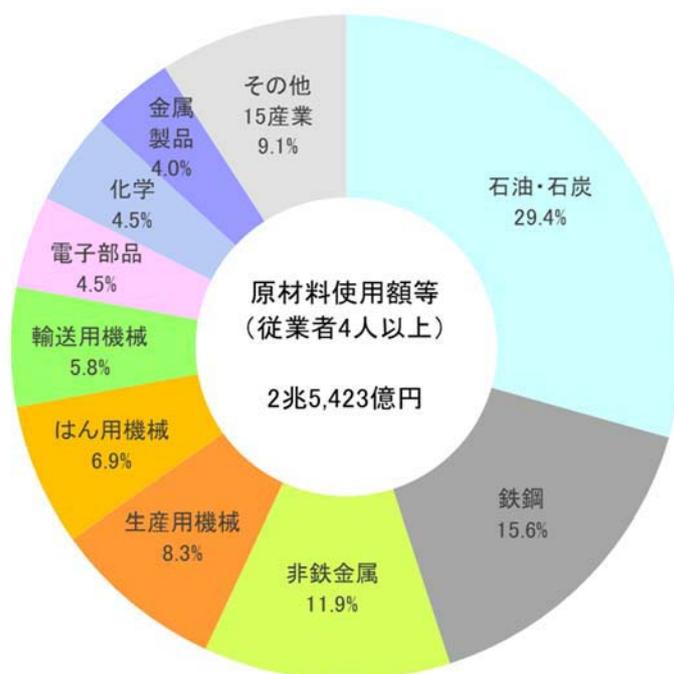
原材料使用額等は2兆5,423億円で、前年に比べて315億円の増加(3.1%)となっている。

(1) 産業別状況

産業別構成比(秘匿産業を除く)は、石油・石炭(7,465億円、29.4%)、鉄鋼(3,976億円、15.6%)、非鉄金属(3,018億円、11.9%)の順となっている。

産業別前年比較は、21産業(秘匿産業を除く)のうち、石油・石炭(1,344億円、22.0%)、鉄鋼(570億円、16.7%)、食料品(315億円、67.4%)など13産業で増加し、電子部品(▲394億円、▲25.7%)、家具(▲53億円、▲17.8%)、電気機械(▲47億円、▲16.5%)など8産業で減少している。

第24図 原材料使用額等の産業別構成比(従業者4人以上)



注:

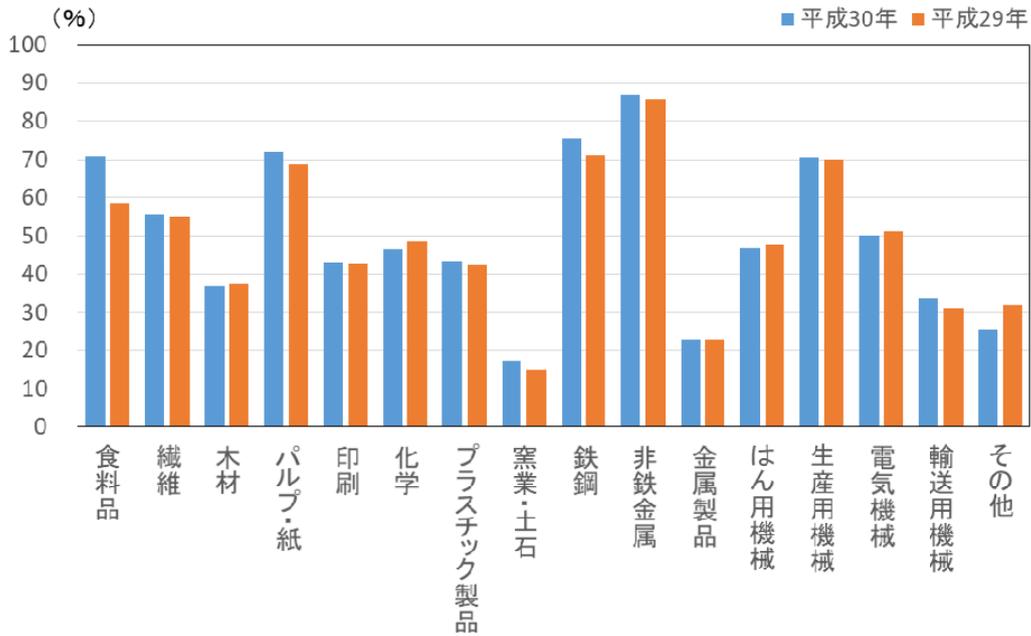
- ・秘匿産業: なめし革、情報通信機械
- ・秘匿産業の構成比は、その他15産業に含まれている。

(2) 原材料率(従業者30人以上)

産業全体の原材料率は、61.4%となっている。

産業別では、17産業(秘匿産業などを除く)のうち、非鉄金属(86.7%)、鉄鋼(75.6%)、パルプ・紙(72.0%)の順となっている。一方、原材料率の低い産業は、窯業・土石(17.1%)、金属製品(22.9%)、その他(25.4%)の順となっている。

第 25 図 原材料率の産業別前年比較（従業者 30 人以上）



注：

・平成 30 年の秘匿産業：

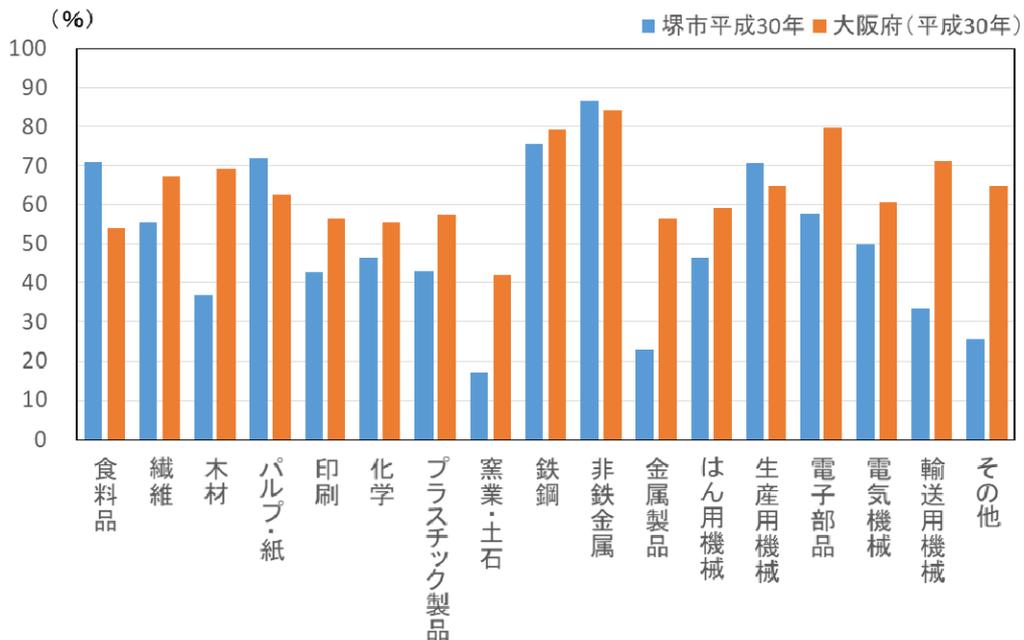
家具、石油・石炭、ゴム製品、なめし革、業務用機械、情報通信機械

・平成 29 年の秘匿産業：

家具、石油・石炭、ゴム製品、なめし革、業務用機械、情報通信機械、電子部品

・該当がない産業：飲料・たばこ

第 26 図 堺市と大阪府の産業別原材料率の比較（参考）



注：

・原材料率＝原材料使用額 ÷ 生産額